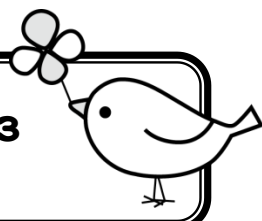


おおたま学園コミュニティ・スクール便りNo.3

(H24/12/14 発行 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会)



平成 24 年度「地域とともにある学づくり推進協議会」が 11 月 15 日（木）いわき芸術文化交流館アリオスで開催されました。大玉村からはコミュニティ・スクール委員や保護者合わせて 9 名で参加しました。

第 1 部のパネルディスカッションでは、玉川大学教授小松郁夫先生や習志野市秋津コミュニティ顧問岸裕司先生、三鷹市教育委員会委員長貝ノ瀬滋先生がパネリストとして参加されました。いずれも大玉村へ講演に来ていただいたことのある先生方です。コミュニティ・スクールという制度の果たすべき役割、その成果などについて語って下さいました。まだまだ発展途上のおおたま学園コミュニティ・スクールですが、これからの可能性を信じてまい進する勇気をいただくことができました。震災や原発事故で苦しむ福島県へ温かい言葉も寄せてくださいました。



第 2 部では大山小学校の安齋校長先生と伊藤コーディネーターが事例発表を行いました。大玉村のコミュニティ・スクール導入の経緯、成果と課題などについて発表しました。会場からたくさんの質問も出され他地域の方々の関心の高さがうかがえました。

【新着情報】

「学校支援地域本部事業」が 文部科学大臣表彰を受賞しました！

「地域の子どもたちは地域で育てる」ために、大玉村では平成 21 年度から学校の応援団としてこの事業を立ち上げました。登録しているボランティアさんも 100 名を超え、学校を拠点にして人が集うことで地域の人々をつなぐツールとしての役割も果たせる組織に育っています。

地域の皆様の温かい気持ちがこの事業を支えていることはいうまでもありませんが、先生方のご理解がなくては成り立ちません。これからも皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



コミュニティ・スクール委員会からのお知らせ

“「大玉村教育フォーラムPart2」開催決定”

日 時：平成 25 年 1 月 27 日（日）9:15～11:30

場 所：大玉村農村環境改善センター

テーマ：「大玉の子どもの実現を見つめ、子どもに生きる力を育む」

～家庭や地域に求められていること～

○大きなテーマに基づいて7つの小グループに分かれ、子育てについてのそれぞれの思いを語り合ってください。日頃は声に出すことの少ない**本音トーク**をしてみませんか？

○地域の方々、保護者、教員その他子育てに関心のある方は **どなたでも参加できます**。

○託児所も用意いたします。

○詳細・申し込みについては別に配布するチラシをご覧ください。

○お問い合わせは教育委員会（電話 4 8 - 3 1 3 8）まで。

（担当：指導主事 大内雅之、コーディネーター 伊藤由美子）

みーんなで、
話し合ってみよう！
子どものことを



CS ワンポイントレッスン

Q:大玉村ではなぜコミュニティ・スクールを導入したの？

A:大玉村の各学校は、教職員の異動によって、学校の在り方がゆれてきました。特に学校の経営者である校長の異動では地域との結びつきが強くなったり疎遠になったりして、保護者や地域住民の信頼関係を揺るがす場面もみられました。また小さな自治体であるにもかかわらず、2つの幼稚園・小学校、1中学校の連携も取られていない状況にありました。

そこで、保護者や地域住民などが一定の権限と責任を持って学校運営に参画することで「地域に開かれた学校づくり」をすすめる新しい仕組みであるコミュニティ・スクールを導入することにしました。

これにより人の異動によって左右されない学校教育を実現しようとしています。



コミュニティ・スクール委員会とは教育委員会の諮問機関ではありません。大玉村が目指している学校の在り方—学校を核にした地域づくり—を実現するために教育委員会から任命された24名の委員で組織されています。地域の子どものより良い育ちのために自分達でできることを考える委員会です。これから開催される教育フォーラムも自分達で企画を考え、自分達で運営にあたらそうと準備をすすめています。コミュニティ・スクール委員会の自立に向けた第一歩ともいえるフォーラムにするために頑張っています。皆様の応援をお願いいたします。

コミュニティ・スクール コーディネーター

伊藤由美子

